

# 事務事業評価シート

事務事業コード	007600	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	医師確保対策事業		所属名	公営企業 鳥取市立病院	

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分		
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期		
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市立病院医師奨学金貸与 条例		
施策	1302	地域包括ケアの推進						
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)		
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0				
			0	0			運営方法	直営
			0	0			会計区分	その他
予算	予算事業名				予算事業コード			

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立病院の常勤医師
意図 (どのような状態 にするために)	地域医療を支える自治体病院として、また、東部医療圏の中核病院として地域住民に安定した医療機能体制の提供
手段 (どうするのか)	将来、鳥取市立病院において医師として勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより、鳥取市立病院における医師の確保を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与(12名)する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。
年度別実績	医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与5名	医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与4名	医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与2名	医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与1名	医師奨学生の決定 2名 奨学金の貸与3名		
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		12,361	9,966	5,162	2,760	8,118	
直接経費 A		12,000	9,600	4,800	2,400	7,764	
直接経費の財源内訳		国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源	12,000	9,600	4,800	2,400	7,764		
人件費 B	361	366	362	360	354		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	医師奨学生数(定員:各学年2名 計12名)	人	目標	12
	(指標の説明)		実績	5	4	2	1	3
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取市立病院総務課 0857-37-1522</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 将来、鳥取市立病院において医師として勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより、鳥取市立病院における医師の確保を図る。</p> <p>【事業の成果】 令和2年度は、新1年生2名の応募があり、将来当院で勤務をする医師の確保が図れた。 また、当院で初期研修2年を終えた1名が、外科医として診療を開始した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 全国的に医師不足と言われる中、大学医局人事に頼らない医師の確保策として、独自の奨学金制度は必要と考えており、今後PR等の強化を図っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	医師奨学生数(定員:各学年2名 計12名)	42%	33%	17%	8%	25%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	目的とする医師の確保については、全体の医師数は、一部不足する専門医がいる診療科もあるが、大学医局への働きかけを積極的に行っていること等により一定水準を保っている。
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新規の奨学生は、平成28年度以降、応募があっても辞退された年も含め、決定をできていなかったが、令和2年度は新1年生を2名確保することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>全国的に医師不足と言われる中、大学医局人事に頼らない医師の確保策として、独自の奨学金制度は必要と考えており、今後PR等の強化を図ります。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	007700	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	単位老人クラブ活動助成事業		所属名	福祉部 長寿社会課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	単位老人クラブ活動補助金			予算事業コード	01-03-01-05-11-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	単位老人クラブ
意図 (どのような状態にするために)	高齢者の生きがいを高めるとともに健康づくりを促進し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上のため。
手段 (どうするのか)	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。
年度別実績	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付した。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	16,604	16,139	15,760	15,053	14,268	
	直接経費 A	15,160	14,675	14,311	13,615	12,854	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,434	10,183	4,783	4,782	4,284
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,726	4,492	9,528	8,833	8,570		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	1,414		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	老人クラブ会員の維持	人	目標	12935
			実績	12908	12655	12432	11863	11543
2	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-30-8211</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 高齢者の生きがいや健康づくりを推進する老人クラブの活動に対し、老人クラブの会員数に応じて助成を行う。</p> <p>【事業の成果】 老人クラブの活動を支援し、高齢者のつながりや生きがい、健康づくりを推進した。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[クラブ数]</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">14,311千円</td> <td style="text-align: right;">250クラブ</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: right;">13,615千円</td> <td style="text-align: right;">243クラブ</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: right;">12,854千円</td> <td style="text-align: right;">237クラブ</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 老人クラブは、会員の健康づくりや介護予防の取り組みに加え、子どもの通学時の見守り活動や小学校花壇整備等のボランティア活動なども行っている。地域福祉の重要な担い手として更なる活動の展開が期待される場所であるが、クラブ数及び会員数とも減少傾向が続いており、会員の増加に向けた取り組みが必要である。</p>		[決算額]	[クラブ数]	平成30年度	14,311千円	250クラブ	令和元年度	13,615千円	243クラブ	令和2年度	12,854千円	237クラブ
	[決算額]	[クラブ数]											
平成30年度	14,311千円	250クラブ											
令和元年度	13,615千円	243クラブ											
令和2年度	12,854千円	237クラブ											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	老人クラブ会員の維持	100%	100%	98%	94%	97%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を図るため、継続実施すべきもの考える。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	007800	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	高齢者介護予防支援バス運行事業		所属名	福祉部 長寿社会課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	令和2年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
			0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	高齢者福祉・ボランティアバス運行事業費			予算事業コード	01-03-01-01-08-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	60歳以上の高齢者の団体
意図 (どのような状態 にするために)	高齢者の健康保持を目的とする教養講座など高齢者が社会参加する機会の拡大
手段 (どうするのか)	運行条件を満たす場合に、バスを運行する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 高齢者バスの運行	平成29年度 高齢者バスの運行	平成30年度 高齢者バスの運行	平成31年度 高齢者バスの運行	令和2年度 高齢者バスの運行	
	年度別実績	高齢者バスの運行 運行件数:591件 利用者数:10,580人	高齢者バスの運行 運行件数:576件 利用者数:10,126人	高齢者バスの運行 運行件数:623件 利用者数:10,993人	高齢者バスの運行 運行件数:596件 利用者数:10,245人	高齢者バスの運行 運行件数:222件 利用者数:2,894人	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,977	8,297	9,281	11,704	9,008	
	直接経費 A	7,833	8,151	9,136	11,560	8,867	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	7,833	8,151	5,122	7,171	8,867
一般財源	0	0	4,014	4,389	0		
人件費 B	144	146	145	144	141		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	バスの運行件数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
			件	目標	592	591	591	591	591	
			実績	591	576	623	596	222		
	2	(指標の説明)			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0	
	3	(指標の説明)			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0		

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-30-8211</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P53(福005)</p> <p>【事業の概要】 高齢者介護予防支援バス運行により、高齢者の社会的な活動の参加を推進し、高齢者自身の生きがいづくりや介護予防を図る。 また、ボランティアバスを運行しボランティア活動を行う者の利便を図ることで、市民の社会奉仕活動の促進を図る。 市内を東部、西部、南部の3ブロックに分け、利用状況によりブロック間の相互利用を行いながらバスを運行することで、利用機会の拡大を図っている。</p> <p>【事業の成果】 〔利用件数〕〔利用者数〕 平成30年度 688件 11,809人 令和元年度 653件 10,912人 令和2年度 238件 3,079人 ボランティアバスの実績を含む</p> <p>【今後の課題・方向性】 公共交通機関利用助成事業への転換などを含め、将来的な事業のあり方を検討する必要がある。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	バスの運行件数	100%	97%	105%	101%	38%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少しているが、高齢者が社会参加する機会の拡充に努めた。将来的には「公共交通機関利用促進事業」を含め利用団体の利便性向上と効率的な事業の実施について検討を要する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	007900	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公共交通機関利用助成事業		所属名	福祉部 長寿社会課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画 の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	令和2年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	公共交通機関利用助成事業費			予算事業コード	01-03-01-05-13-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・60歳以上の高齢者の団体</li> <li>・各地区公民館を拠点に活動している団体</li> </ul>
意図 (どのような状態にするために)	高齢者の健康保持を目的とする教養講座など各種研修、生きがいを高めるためのレクリエーションへの参加など条件を満たす場合、また市民が、研修会などへ参加するための貸切バス利用の助成を行うことで、市民が研修を受ける機会の拡大を図る。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉バスが運行できない運行時間外、土日祝祭日、年末年始を補完するため、貸切バスの利用に対して助成を行う。</li> <li>・各地区公民館を拠点に活動している団体が、各種大会、研修会などへ参加するため貸切バスを利用した場合助</li> </ul>

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		公共交通機関利用助成	公共交通機関利用助成	公共交通機関利用助成	公共交通機関利用助成	公共交通機関利用助成	
年度別実績		公共交通機関利用助成 利用件数:122件	公共交通機関利用助成 利用件数:112件	公共交通機関利用助成 利用件数:117件	公共交通機関利用助成 利用件数:111件	公共交通機関利用助成 利用件数:22件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,845	6,330	6,544	6,416	1,327	
	直接経費 A	6,701	6,184	6,399	6,272	1,186	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,701	6,184	6,399	6,272	1,186		
人件費 B	144	146	145	144	141		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	助成件数	件	目標	118	123	120	120	120
				実績	122	112	117	111
2	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-30-8211</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P56(福012)</p> <p>【事業の概要】 高齢者の団体が、広く地域社会との交流を図り、生きがいを高めるためのレクリエーション、健康保持のための教養講座、研修などに参加する場合、または、市民が地域活動や研修会などへ参加する場合において、貸切バスなどを利用した場合、その経費の一部を助成する。 (対象等)・60歳以上の高齢者の団体、また各地区公民館を拠点に活動している団体 ・対象となる5万までの基本運賃に対して、10/10助成する ・利用回数は、年度中に1団体1回 (助成上限)50,000円</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 6,399千円 117件(高齢者71件、一般46件) 令和元年度 6,272千円 111件(高齢者76件、一般35件) 令和2年度 1,186千円 22件(高齢者16件、一般6件)</p> <p>【今後の課題・方向性】 高齢者の社会参加の促進は、健康づくりや介護予防にも効果があり、継続して取り組むことで高齢者福祉の増進を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	助成件数	103%	91%	98%	93%	18%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少しているが、高齢者が社会参加する機会の拡充を図るため継続実施すべきものとする。「高齢者介護予防支援バス」を含め、利用団体の利便性向上と効率的な事業の実施について検討を要する。</p>				

# 事務事業評価シート

事務事業コード	008000	重点施策	まちづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	介護予防教室事業		所属名	福祉部 長寿社会課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 目録	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	
			0	0		
予算	予算事業名	おたっしや教室事業費			予算事業コード	15-09-01-02-01-03

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	運動機能等の低下など要介護状態等となるおそれの高い状態にある高齢者
意図 (どのような状態 にするために)	自発的・継続的な介護予防の取組みを促進
手段 (どうするのか)	介護予防に資する通所型運動教室を実施して、介護予防の知識・意識を啓発する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		おたっしや教室開催 目標参加者 710人 ・地区公民館型 540人 ・健康増進施設型 180人	おたっしや教室開催 目標参加者 720人 (地区公民館型のみ)	おたっしや教室開催 目標参加者 460人	おたっしや教室開催 目標参加者 460人	おたっしや教室開催 目標参加者 460人	おたっしや教室開催 目標参加者 460人
年度別実績	おたっしや教室開催 実績 開催:4施設、36教室 参加者:729人 ・地区公民館型 549人 ・健康増進施設型 180人	おたっしや教室 実績 開催:58教室 参加者:457人	おたっしや教室 実績 開催:58教室 参加者:472人	おたっしや教室 実績 開催:57教室 参加者:430人	おたっしや教室 実績 開催:59教室 参加者:415人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	32,512	29,308	29,530	28,847	23,863	
	直接経費 A	32,512	27,478	27,719	27,049	22,095	
	直接経費の財源内訳	国・県	12,192	9,087	9,843	9,654	7,857
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	16,256	14,847	14,998	14,578	11,847
一般財源	4,064	3,544	2,878	2,817	2,391		
人件費 B	0	1,830	1,811	1,798	1,768		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.25	0.25	0.25	0.25	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				参加人数	人	目標	710	720
1	(指標の説明) おたっしや教室参加人数(実)	実績	729	457	472	430	415	
		目標	0	0	0	0	0	
2	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-30-8213</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P253(介004)</p> <p>【事業の概要】 高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、運動器機能の維持・向上のための運動の指導・習慣化を図る教室を、地区公民館等で開催し、高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組みを促進する。 ・概ね毎週1回、全12回(3か月間)開催 ・教室1回あたり90分間、運動指導に加え、栄養・口腔に関する講話を実施 ・利用料：500円 ・必要に応じて送迎あり ・教室終了後も自発的に活動継続できるよう、地域の介護予防教室やサロン等の紹介</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 472名(計58教室) 令和元年度 430名(計57教室) 令和2年度 415名(計59教室)</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業の対象になる高齢者の抽出方法及び参加勧奨等による参加者増への取り組み。認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症予防に効果のある運動・知的活動等を今後プログラムへ組み込みより効果の高い介護予防事業としていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	参加人数	103%	63%	103%	93%	90%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組みを促進するため、随時事業内容の見直しを行いながら継続的に実施していきたいと考える。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	008100	重点施策	まちづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	認知症地域支援・ケア向上事業		所属名	福祉部 長寿社会課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	認知症地域支援・ケア向上事業費			予算事業コード	15-09-02-01-05-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認知症の人
意図 (どのような状態 にするために)	できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるようにする。
手段 (どうするか)	認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族の相談支援の実施と医療・介護等の関係機関と連携して、地域における認知症の人の支援体制の構築と認知症ケアの向上に取り組む。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		認知症地域支援推進員配置数 1名 認知症カフェ設置数 7箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 8箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 10箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 10箇所	認知症地域支援推進員配置数 7名 認知症カフェ設置数 10箇所
年度別実績	認知症地域支援推進員配置数 1名 認知症カフェ設置数 7箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 8箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 8箇所	認知症地域支援推進員配置数 1名 認知症カフェ設置数 9箇所	認知症地域支援推進員配置数 6名 認知症カフェ設置数 9箇所	
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
直接経費の内訳	事業費(A+B)	6,842	10,981	11,243	7,128	19,656
	直接経費 A	5,398	9,517	9,794	5,690	18,242
	国・県	3,158	5,567	5,656	3,286	10,535
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,187	2,094	2,253	1,309	4,196
一般財源	1,053	1,856	1,885	1,095	3,511	
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	1,414	
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	認知症地域支援推進員配置数	人	目標	1
			実績	1	2	2	1	6
	(指標の説明) 令和2年度より拡充を進める地域包括支援センターに配置する。							
2	認知症カフェ設置数	箇所	目標	7	8	10	15	18
			実績	7	8	8	9	9
	(指標の説明) 日常生活圏域に1か所の認知症カフェの設置を目指す。							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-30-8213</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P256(介009)</p> <p>【事業の概要】 国が策定した認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に沿って「認知症になって も本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることので きる社会」の実現を目指し、認知症施策の充実に取り組んでおり、平成27年7月より認 知症地域支援推進員を法人委託により配置し、官民協働で認知症施策を推進している。</p> <p>【事業の成果】 令和2年度より運営委託により拡充を進める地域包括支援センターにも認知症地域支援 推進員を順次配置。認知症地域支援推進員が、認知症の人やその家族の専門的な相談対応 や支援の仕組づくり、あるいは関係者の認知症対応力の向上に取り組むことで、本市の認 知症ケアの向上と医療・介護等の関係機関との連携強化につながった。さらに、認知症の 人やその家族等の身近な集いの場、あるいは相談や情報収集が可能な場となる認知症カフ ェの運営支援を行い、認知症支援の充実につながった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域包括支援センターに配置された認知症地域支援推進員と協働し、認知症の本人視点 を重視した認知症施策の取り組みをさらに進めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	認知症地域支援推進員配置数	100%	100%	100%	50%	300%
	2	認知症カフェ設置数	100%	100%	80%	60%	50%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN-DO】より 当該年度で予定した事業が3月末時点でどのよう な進捗状況となったか。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 計画どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 事業未完了</p>	<p>認知症地域支援推進員が委託の各包括支援センターに順次配置され、目 標の2名体制から6名体制となったため、目標を大きく上回った。カフェの設 置数は目標には至らなかったが、認知症カフェの要素を持つ地域のサロンの 新規立ち上げにはつながった。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より 「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未 満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、 「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に 下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る</p>	<p>各日常生活圏域に1か所という目標は大きく下回った。今後各地域包括支援 センターに設置された認知症地域支援推進員とともに取り組みを継続する。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 改善継続</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加</p> <p><input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化</p> <p><input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合</p>	<p><input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少</p> <p><input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了</p>
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由が わかるよう、数値等を用いた具体的 な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>認知症地域支援推進員を全ての地域包括支援センターに配置して、認知症の本人視点を重視した認知症施策の取り組みを推進する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	008200	重点施策	まちづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	認知症初期集中支援推進事業		所属名	福祉部 長寿社会課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	認知症初期集中支援推進事業費			予算事業コード	15-09-02-01-05-04

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認知症の人
意図 (どのような状態 にするために)	早期診断・早期対応により医療・介護サービス等による適切な支援に移行する
手段 (どうするのか)	医療・介護の専門職で取組む認知症初期集中支援チームを設置し、初期集中支援を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	認知症初期集中支援 チームの設置 1チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム
年度別実績	認知症初期集中支援 チームの設置 1チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 3チーム		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,993	3,399	4,542	4,345	2,889	
	直接経費 A	549	1,311	3,093	2,907	1,475	
	直接経費の財 源内訳	国・県	321	767	1,786	1,679	852
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	121	288	711	669	339
	一般財源	107	256	596	559	284	
人件費 B	1,444	2,088	1,449	1,438	1,414		
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	チームの設置数	箇所数	目標	1
			実績	1	2	2	2	3
	(指標の説明) チームを地域包括支援センターに1箇所設置する。							
2	初期集中支援ケース数	件数	目標	5	50	40	40	60
			実績	5	13	15	13	15
	(指標の説明) 1チームあたり20件の初期集中支援検討とする。							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-30-8213</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P256(介010)</p> <p>【事業の概要】 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わる医療職・介護職で構成する「認知症初期集中支援チーム」を設置し、地域のかかりつけ医や介護事業者等と連携して、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。</p> <p>【事業の成果】 認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の人やその家族の初期の支援を包括的・集中的に行うことで、認知症の人の早期診断・早期対応、あるいは支援体制の構築などに取り組んだ。令和2年度より委託包括を中心にしたチームを1つ設置しより身近な場所で相談支援できるよう取り組んだ。</p> <p>【今後の課題・方向性】 認知症初期集中支援チームの活動の有効性が市民はもとより、医療介護の専門職にも十分に浸透していないと思われるため、一層の周知が必要と考える。また、地域包括支援センターごとにチームを設置し、より身近な存在として活動できる体制を構築する。</p> <p>認知症の早期発見・早期対応は、認知症施策において重点的な取り組みに位置づける事業であり、認知症地域支援推進員の増員配置と連動させながら認知症初期集中支援チームの拡充を図っていききたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	チームの設置数	100%	200%	100%	100%	150%
	2	初期集中支援ケース数	100%	26%	38%	33%	25%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	1チーム当たり20件を目標に取り組んだが、地域包括支援センターからの相談件数は例年並みであった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>認知症の早期発見・早期対応は、認知症施策において重点的な取り組みに位置づける事業であり、認知症地域支援推進員の増員配置と連動させながら認知症初期集中支援チームの拡充を図っていききたいと考える。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	008300	重点施策	まちづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業		所属名	福祉部 長寿社会課

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法
施策	1302	地域包括ケアの推進				
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	在宅医療・介護連携推進事業費(事業運営費)			予算事業コード	15-09-02-01-03-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	医療や介護が必要となった住民
意図 (どのような状態にするために)	住み慣れた地域で可能な限り最後まで暮らし続けることができるように
手段 (どうするのか)	鳥取県東部医師会を拠点に、関係する医療・介護の多職種で、課題解決策の検討、情報共有、知識向上研修の場を設け更なる連携を強化し、東部地域全体で住民の在宅療養(生活)を支える仕組みを構築していく。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	厚生労働省が示している8項目の事業を早期に開始できるよう取り組む	厚生労働省が示している8項目の事業すべて取り組みを開始する	厚生労働省が示している8項目の事業すべて取り組みを継続、進展させる	厚生労働省が示している8項目の事業すべて取り組みを継続、進展させる	厚生労働省が示している8項目の事業すべて取り組みを継続、進展させる
年度別実績		厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを開始した	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続実施した	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続実施した	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続実施した	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続実施した	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	27,018	26,287	22,306	22,464	21,721	
	直接経費 A	12,580	11,649	7,820	8,084	7,579	
	直接経費の財源内訳	国・県	5,783	5,369	3,561	3,690	3,463
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,869	4,490	3,072	3,165	2,962
一般財源	1,928	1,790	1,187	1,229	1,154		
人件費 B	14,438	14,638	14,486	14,380	14,142		
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	取り組みを開始した厚生労働省が示す事業項目数	項目	目標	7
			実績	8	8	8	8	8
活動指標	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	2		目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
3		目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)							

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】医療介護連携係 0857-54-1970</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P255(介007)</p> <p>【事業の概要】 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、県東部圏域の1市4町と県東部医師会が連携して、国が定める在宅医療・介護連携を推進するための8つの施策(医療・介護資源の把握、課題抽出・対策検討、関係者の研修、在宅医療・介護の提供体制の構築推進、情報共有の支援、相談支援、住民への普及啓発、関係市町村の連携)を実施する。</p> <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 東部地区在宅医療介護連携推進協議会やワーキンググループ、他団体との各種検討会議により、課題解決に向けた活動を実施した。 [施策 ]</li> <li>2 「医療・介護資源マップ」の再調査及び情報更新を実施した。 [施策 ]</li> <li>3 連携中枢都市圏で終活支援ノート、寸劇DVD、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)パンフレットと一緒に活用した住民啓発学習会(4回)を開催した。ACP(終活支援)ノート改訂版の企画・作成を実施。 [施策 ]</li> <li>4 事例検討多職種研修会(5回)、多職種関係者向けACP研修会(3回)を開催、認知症施策と連携したユーチューブ研修動画の作成・配信を実施。 [施策 ]</li> <li>5 医療や介護の関係者からの相談支援を継続実施した。 [施策 ]</li> <li>6 入退院時の病院とケアマネジャーの連携・情報共有手引きを運用開始。 [施策 ]</li> </ol> <p>【今後の課題・方向性】 課題の検討や多職種研修を通じた関係者間の更なる連携強化を目指す。今後は認知症や看取りに関する取り組み強化が求められている。生活支援体制整備や認知症施策等他施策との連携強化も課題。また住民に対しACPや自助・互助の重要性の周知を続ける。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	取り組みを開始した厚生労働省が示す事業項目数	114%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには在宅療養の環境整備が不可欠であり、在宅療養の環境整備を図るため在宅医療・介護連携の取り組みを継続的に実施していく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	008400	重点施策	まちづくり	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	生活支援体制整備事業		所属名	福祉部 長寿社会課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分		
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期		
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法		
施策	1302	地域包括ケアの推進						
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)		
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0				
			0	0			運営方法	外部委託
			0	0			会計区分	特別会計
予算	予算事業名	生活支援体制整備事業費(事業運営費)			予算事業コード	15-09-02-01-04-02		

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者
意図 (どのような状態にするために)	既存の通所介護や訪問介護だけでなく多様な担い手による生活支援サービスの提供体制を確保する。
手段 (どうするのか)	関係多職種による「鳥取市地域包括ケアシステム推進連絡会」を設置して定期的に情報共有・連携強化に取り組むとともに、「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」を配置して地域の生活支援サービスの担い手の育成や立ち上げ支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 4名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 7名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 8名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 8名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 8名
年度別実績	検討会開催 3回 生活支援コーディネーター4名配置	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 1回 生活支援コーディネーターの配置 7名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 1回 生活支援コーディネーターの配置 8名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 1回 生活支援コーディネーターの配置 8名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会(鳥取市地域包括ケアシステム推進連絡会)の開催 1回 生活支援コーディネーターの配置 8名	鳥取市地域包括ケアシステム推進連絡会の開催 12回 生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置 6名
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
直接経費の財源内訳	事業費(A+B)	23,635	28,174	34,960	35,303	28,213
	直接経費 A	20,025	24,514	31,338	31,708	24,677
	国・県	11,714	14,341	18,098	18,312	14,251
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	4,406	5,393	7,208	7,293	5,676
一般財源	3,905	4,780	6,032	6,103	4,750	
人件費 B	3,610	3,660	3,622	3,595	3,536	
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	生活支援コーディネーター配置数	人	目標	4
	(指標の説明)		実績	4	7	8	8	6
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-30-8213</p> <p>【10次総施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P255(介008)</p> <p>【事業の概要】 通所介護や訪問介護などの介護保険のサービスだけでなく、多様な担い手による生活支援サービスの提供体制を構築するため、関係多職種による「鳥取市地域包括ケアシステム推進連絡会」を設置して検討を行うとともに、「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」を配置し、地域のサービスの担い手の育成や立ち上げ支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 生活支援サービス関係団体で構成する「鳥取地域包括ケアシステム推進連絡会(第1層協議体：全市対象)」において介護予防・生活支援サービス提供体制の方向性を協議するとともに、「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)(第1層：全市域、第2層：日常生活圏域)」による地域での聞き取り等を行い、地域課題の把握やその解決に向けた検討を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[生活支援C]</td> <td style="text-align: center;">[検討会(連絡会)]</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">31,329千円</td> <td style="text-align: center;">8名(第1層：1名、第2層：7名)</td> <td style="text-align: center;">1回</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">31,640千円</td> <td style="text-align: center;">8名(第1層：1名、第2層：7名)</td> <td style="text-align: center;">1回</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: center;">24,677千円</td> <td style="text-align: center;">6名(第1層：1名、第2層：5名)</td> <td style="text-align: center;">12回</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 今後も生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を複数名配置し、地域資源の調査や地域ニーズの把握等を行うとともに、「鳥取市地域包括ケアシステム推進連絡会」において、多様な主体による生活支援・介護予防サービスの必要性やあり方等について検討を行う。また、第2層協議体の設置に向けた取り組みを進める。</p>		[決算額]	[生活支援C]	[検討会(連絡会)]	平成30年度	31,329千円	8名(第1層：1名、第2層：7名)	1回	令和元年度	31,640千円	8名(第1層：1名、第2層：7名)	1回	令和2年度	24,677千円	6名(第1層：1名、第2層：5名)	12回
		[決算額]	[生活支援C]	[検討会(連絡会)]													
平成30年度	31,329千円	8名(第1層：1名、第2層：7名)	1回														
令和元年度	31,640千円	8名(第1層：1名、第2層：7名)	1回														
令和2年度	24,677千円	6名(第1層：1名、第2層：5名)	12回														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	生活支援コーディネーター配置数	100%	100%	100%	100%	75%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	委託先法人の人員不足により6名の配置となった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>地域住民や地域の多様な主体が支え合い、助け合うことのできる仕組みづくりを推進するため、それぞれの地域の実状に即した活動を展開しながら地域資源の把握や地域課題の解決に向けて地域の福祉関係者と連携する生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置を継続すべきものとする。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	008600	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	佐治町国民健康保険診療所運営事業		所属名	福祉部 保険年金課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成2年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	特別会計
予算	予算事業名	医科運営費		予算事業コード	16-01-01-01-02-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	佐治町をはじめとする地域住民
意図 (どのような状態 にするために)	健康の維持増進及び医療の提供を行うために
手段 (どうするのか)	安定的な医師の確保に努め、診療所の運営・維持を図る

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		医師の勤務しやすい 環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療 サービスの提供	医師の勤務しやすい 環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療 サービスの提供	医師の勤務しやすい 環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療 サービスの提供	医師の勤務しやすい 環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療 サービスの提供	医師の勤務しやすい 環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療 サービスの提供
年度別実績	医療機器の整備 県からの自治医大卒 業医師の派遣を継続 医療及び介護サービ ス(訪問リハビリ)の サービスを継続実施	医療機器の整備 県からの自治医大卒 業医師の派遣を継続 医療及び介護サービ ス(訪問リハビリ)の サービスを継続実施	医療機器の整備 県からの自治医大卒 業医師の派遣を継続 医療及び介護サービ ス(訪問リハビリ)の サービスを継続実施	医療機器の整備 県からの自治医大卒 業医師の派遣を継続 医療及び介護サービ ス(訪問リハビリ)の サービスを継続実施	医療機器の整備 県からの自治医大卒 業医師の派遣を継続 医療及び介護サービ ス(訪問リハビリ)の サービスを継続実施	医療機器の整備 県からの自治医大卒 業医師の派遣を継続 医療及び介護サービ ス(訪問リハビリ)の サービスを継続実施
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
事業費(A+B)		79,442	61,092	50,712	57,983	61,389
直接経費 A		51,785	33,189	28,983	36,413	40,176
国・県		827	866	852	0	5,056
地方債		0	0	0	0	3,500
その他	34,825	32,323	28,131	36,312	31,520	
一般財源	16,133	0	0	101	100	
人件費 B	27,657	27,903	21,729	21,570	21,213	
職員数の 内訳	正規職員	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	嘱託職員	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	常駐医師数	人	目標	1
	(指標の説明)		実績	1	1	1	1	1
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-71-1914		
	【10次総の施策体系】1302		
	【予算計上の経過】		
	予算事業別概要目次：当初予算・P243(国010)		
	【事業の概要】		
	無医地域となる佐治地域の住民の健康・福祉の維持増進のため、民間では採算性の低い地域において公的診療所を維持し、地域医療サービスを提供する。		
	診療科 内科、小児科、外科(開設：平成2年4月2日)		
	職員 医師1名、看護師2名、非常勤事務職員事務1名		
	【事業の成果】		
	鳥取市立病院との医薬品共同購入等による経費の節減及び人間ドックをはじめとする各種健診の積極的な実施により、収益向上に努めた。また、介護サービス空白地の解消のため、平成25年に開設した訪問リハビリ事業も在宅サービスの向上につながっている。		
佐治診療所(医科)の運営に要する経費			
平成30年度	令和元年度	令和2年度	
年間診療日数	210日	212日	218日
年間件数	6,275件	5,751件	5,564件
1日平均	29.9件	27.1件	25.5件
訪問リハビリ	265件	200件	107件
年間収入	103,255,292円	112,736,419円	113,995,964円
年間支出	78,050,696円	86,274,501円	87,737,884円
収支差引	25,204,596円	26,461,918円	26,258,080円
【今後の課題・方向性】			
地域住民の健康維持を図るために常駐医師の確保が優先的な課題であり、医師派遣元の県と協力しながら医師の確保に努めるとともに、住民の健康維持を図るため、地域医療サービスの提供に努めていく。			

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	常駐医師数	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>地域住民の健康維持を図るために常駐医師の確保が優先的な課題であり、医師派遣元の県と協力しながら医師の確保に努めるとともに、住民の健康維持を図るため、地域医療サービスの提供に努めていく。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	034700	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	軽費老人ホーム運営補助事業		所属名	福祉部 長寿社会課

## 1. 基本情報

位置づけ の 計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	老人福祉法、鳥取市軽費老人 ホーム運営費補助金交付要綱
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	軽費老人ホーム運営補助金			予算事業コード	01-03-01-05-25-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	在宅での生活に不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者等
意図 (どのような状態 にするために)	軽費老人ホームで食事の提供その他の日常生活上の支援を、所得に応じて無料又は低額な料金で利用できるよ うにする。
手段 (どうするのか)	社会福祉法人等が設置する軽費老人ホームに対して助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画		施設が軽減した利用 料相当額に対して助成 を行う	施設が軽減した利用 料相当額に対して助成 を行う	施設が軽減した利用 料相当額に対して助成 を行う	施設が軽減した利用 料相当額に対して助成 を行う	
	年度別実績		施設が軽減した利用 料相当額に対して助成 を行う 助成施設：6施設	施設が軽減した利用 料相当額に対して助成 を行う 助成施設：6施設	施設が軽減した利用 料相当額に対して助成 を行う 助成施設：6施設	施設が軽減した利用 料相当額に対して助成 を行う 助成施設：6施設	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	146,298	149,761	160,635	
	直接経費 A	0	0	144,849	148,323	159,221	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	144,849	148,323	159,221		
人件費 B	0	0	1,449	1,438	1,414		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動 指標	1	助成施設		目標	0	0	6	6	6	
				実績	0	0	6	6	6	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-30-8213</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P57(福013)</p> <p>【事業の概要】 軽費老人ホームのサービス提供に要する費用(事務費)のうち、社会福祉法人等が基準に基づき軽減した利用料相当額に対して助成する。</p> <p>【事業の成果】 在宅での生活に不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者等が、軽費老人ホームに入所して所得に応じて無料又は低額な料金で食事の提供その他の日常生活上の支援を受けることで、健康で穏やかな生活を送れるよう支援した。</p>																			
	<p>[決算額] [助成施設] [延べ利用者数] [月平均利用者数]</p> <table border="1"> <tr> <td>数 /12]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>144,849千円</td> <td>6施設</td> <td>3,258人</td> <td>272人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>148,323千円</td> <td>6施設</td> <td>3,265人</td> <td>272人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>159,221千円</td> <td>6施設</td> <td>3,283人</td> <td>274人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 在宅での生活に不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者等が、健康で穏やかな生活を送れるよう、社会福祉法人等が設置する軽費老人ホームに対して助成を行う。</p>	数 /12]					平成30年度	144,849千円	6施設	3,258人	272人	令和元年度	148,323千円	6施設	3,265人	272人	令和2年度	159,221千円	6施設	3,283人
数 /12]																				
平成30年度	144,849千円	6施設	3,258人	272人																
令和元年度	148,323千円	6施設	3,265人	272人																
令和2年度	159,221千円	6施設	3,283人	274人																

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	助成施設			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>老人福祉法に基づく「家族による援助を受けることが困難な高齢者等の支援事業」であり、必要に応じて継続実施していく。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	034800	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	在宅医療・介護連携推進支援事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健総務課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画 の まちづくり の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0		
			0	0		
実施の 目標			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	在宅医療・介護連携推進支援事業費			予算事業コード	01-03-01-05-18-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	在宅医療介護に係る関係者を対象に地域包括ケア推進に係るファシリテーターを養成する 平成27～29年度に実施した「地域包括ケア推進に係るファシリテーション研修」修了者
意図 (どのような状態 にするために)	医療・介護に係る多職種連携を強化し住民参加型学習会を推進するファシリテーターを養成するとともに過去の 養成者に対してはスキルアップを図る
手段 (どうするのか)	東部医師会へ1市4町が事業委託をし、東部地域全体の在宅生活を支える仕組みを構築していくため、厚生労働 省が示す8事業の取り組みを推進している。その1つである住民への普及啓発の要となる「ファシリテーター の養成・フォローアップ研修」を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	年度別実績			2回	1回 1回 1回	～ 新型コロナ感染 症により未実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	7,473	7,418	7,071	
	直接経費 A	0	0	230	228	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	219	228	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	11	0	0		
人件費 B	0	0	7,243	7,190	7,071		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	研修の開催	回	目標	0	0	2	2	2
		(指標の説明)		実績	0	0	2	2	0
	2			目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
	3			目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画連携係 0857-30-8521</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 平成27年度から県東部圏域1市4町が東部医師会への委託事業として「東部地区在宅医療介護連携推進室」を設置し、義務化されている8項目事業を実施。 医療や介護が必要な状態となっても、できるかぎり住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう、在宅医療と介護の連携を図る、地域包括ケアを推進。この取組において住民の理解が重要であることから、住民啓発において中心的な役割を担う「ファシリテーター養成研修」及び「ファシリテーター・フォローアップ研修」、住民学習会や研修の講師を行う「プレゼンター養成講座」を実施するもの。</p> <p>【事業の成果】 平成31年度 ・フォローアップ研修 2回開催 令和元年度 ・フォローアップ研修 1回開催 ・プレゼンター養成講座 1回開催 令和2年度 ・東部地区在宅医療介護連携推進協議会等への参画 (新型コロナウイルス感染症の影響で研修事業中止) ・東部地区在宅医療介護連携推進協議会への参画</p> <p>【今後の方向性】 感染症対応を図りながら、在宅医療介護連携の推進に向けて可能な範囲で取組を進め、引き続き事業を継続する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	研修の開催			100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	新型コロナウイルス感染症により研修会は中止としたため
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	新型コロナウイルス感染症により研修会は中止。東部地区在宅医療介護連携推進協議会事業等には参加することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	R2年度は、ファシリテーター養成研修、在宅医療介護関係者意見交換会など事業の改善・拡充を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業を実施することができなかった。感染症対応を図りながら、可能な範囲での事業実施に取り組む。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	034900	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	福祉相談窓口設置事業		所属名	福祉部 地域福祉課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	地域福祉相談センター事業費			予算事業コード	01-03-01-01-59-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	福祉に関する悩みや不安を抱えている方々
意図 (どのような状態 にするために)	課題の早期解決につなげるため
手段 (どうするのか)	社会福祉法人等との協働により、住民の皆さんの身近な生活圏域で、福祉に関する相談を一旦丸ごと受け止める窓口「地域福祉相談センター」を開設し、生活相談員や介護支援専門員などの職員が福祉課題を抱える相談者に対して助言を行ったり、専門機関へ取り次ぐ

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			地域福祉相談センターの開設	地域福祉相談センターの運営	地域福祉相談センターの運営	
	年度別実績			市内23箇所に地域福祉相談センターを開設した	2箇所を増設し、市内25箇所の地域福祉相談センターを運営した。	市内25箇所の地域福祉相談センターを運営した。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	5,000	8,335	8,186	
	直接経費 A	0	0	2,827	6,178	6,065	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	2,827	6,178	6,065	
人件費 B	0	0	2,173	2,157	2,121		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	地域福祉相談センターの設置数	箇所	目標	0	0	23	25	25	
				実績	0	0	23	25	25	
	(指標の説明) 地域福祉相談センターの設置数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P52(福004)</p> <p>【事業の概要】 介護、障がい、育児、ひきこもり、生活困窮など、複合化・複雑化する福祉課題を一旦丸ごと受け止める相談窓口「地域福祉相談センター」を身近な地域に設置し、福祉課題の早期発見・早期解決を図る。</p> <p>【事業の成果】 市民の相談しやすい環境を充実させた。 平成30年度 23センター 2,827千円(平成30年11月29日開設) 令和元年度 25センター 6,178千円 令和2年度 25センター 6,065千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民が相談しやすい環境づくりを進め、福祉課題の早期発見・早期解決を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	地域福祉相談センターの設置数			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>身近な地域で相談しやすい体制を今後も維持していく必要がある。</p>		